



Data

監督: アフォンソ・ポイアルチ
 出演: アンソニー・ホプキンス/コリン・ファレル/ジェフリー・ディーン・モーガン/アビー・コーニッシュ/ジョーダン・ウッズ=ロビンソン/マーリー・シェルトン/ザンダー・パークレー/ケニー・ジョンソン/ジャンニー・ターナー/シャロン・ローレンス/ホセ・パブロ・カンティエーロ/ジョ/マット・ジェラルド

■■■ショートコメント■■■

◆『羊たちの沈黙』(91年)におけるアンソニー・ホプキンスの名演(怪演?)は映画史上に残るものだった。しかして、本作もアンソニー・ホプキンス演じる元FBIに勤めていた医師のジョン・クランシー博士が、FBIからの依頼を受けて、難航する捜査に協力する映画らしい。すると、あの名作の二番煎じの心配はないの?

『羊たちの沈黙』では若き女性のFBI訓練生クリス役をジョディ・フォスターが演じ、アンソニー・ホプキンスを喰うような新鮮な魅力を発揮したが、本作で若きFBIの女性捜査官キャサリン・コウルズを演じるのは、アビー・コーニッシュだ。また、キャサリンの相棒となるFBIのベテラン捜査官ジョー・メリーウェザーを演じているのは、ジェフリー・ディーン・モーガン、そして、ジョンと敵対する男チャールズ・アンブローズを演じるのがコリン・ファレルだから、本作ではこれら多くのビッグネームに注目!

◆「スリラーもの」、「犯罪もの」、「サイコスリラーもの」は多種多様だが、本作の特徴は主人公のジョンが人並み外れた“予知能力”をもっていること。そういえば、昔のテレビで「あなたの未来が見えます」を売りにした番組があったが、そりゃ所詮インチキ・・・?しかして、親友のジョーはジョンの“予知能力”を信用しているようだが、若いキャサリンはそもそもジョンの“予知能力”そのものに懐疑的。したがって、本作導入部と前半では、FBIの捜査は不協和音ばかりが目立ってしまう。しかも、ジョンの“見立て”によると一連の事件の犯人は自分以上の予知能力を持っているにちがいないそうだから、犯人逮捕はもはやお仕上げ・・・。

そんな最悪の状況下、キャサリンとジョンの和解と捜査協力への模索は・・・?そして、犯人チャールズを追跡する手掛かりは・・・?

2018 (平成30) 年10月18日記